

1.DX への取組・方向性

2025 年、多くの企業が直面する予想される「2025 年の崖」という大きな課題が浮かび上がっています。この「崖」は、デジタル技術の進展や社会の変化に対応できない企業が存続の危機に直面するという未来を示唆しています。特に AI 技術の急速な発展は、これまでのビジネスモデルや業務プロセスを根底から覆す可能性を秘めています。

私たちは、このような大変動の時代においても、企業としての存続と成長を続けるために DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組を積極的に進めています。私たちの目指す DX は、単なる技術導入にとどまらず、自社内のデータをもとに新しいビジネスモデルの構築を行います。顧客の期待を常に超えるサービスを提供することを目標とし、信頼とともに社会の発展に貢献する企業を目指しています。

この新しい時代において、変化に適応し続け、顧客のニーズに応えることが私たちの使命です。そういった姿勢で、私たちは常に最前線での挑戦を続けます。

株式会社カワイ
代表取締役 河合 伸一郎

2.DX 推進の戦略

ChatGPT などの AI を活用し、下記データを活用して新たなビジネスモデルを構築します。

- ・購買履歴データを利用して、将来の需要を予測し、在庫管理を最適化します。顧客の購買パターンに基づいて適切なタイミングで商品を提供することで、売上の安定化と在庫コストの最小化を実現します。
- ・定期間ごとに購入される商品のパターンを分析し、定期購入プログラムを検討します。購入頻度によって毎週あるいは月 1 などに特定の商品を定期的に配送するサービスを拡充することで、顧客の便利さと満足度を向上させます。

3.DX 推進体制

1. DX 推進統括責任者の設置

DX 戦略の責任者を任命し、全体の推進を統括します。この役割は、戦略の策定から実行、成果の評価までを担当し、各部門との調整を行います。

2. DX 推進チームの編成

DX の各施策を具体的に推進するために、専門的なスキルを持ったチームを編成します。

3. 教育とスキルの開発

DX に関する最新の知識とスキルを定期的に共有し、社員の能力向上を支援します。全員が DX 戦略の推進者としての役割を果たせるようにします。

4. DX 推進のための環境整備

1. 社内データ一元管理ツール導入
2. データのバックアップ
3. 社会情勢に適応するためのインフラ整備

5. DX 推進の目標指標

1. 顧客満足度の向上率
2. 新商品開発の成功率

6. サイバーセキュリティ対策

1. サイバーセキュリティポリシーの策定と実施

サイバーセキュリティポリシーを策定し、全従業員に周知させます。このポリシーは、ファイアウォールやアンチウイルスソフトの導入、定期的なセキュリティ監査の実施などを通じて、弊社のセキュリティ体制を強化します。

2. 従業員向けサイバーセキュリティ教育

従業員向けに定期的にサイバーセキュリティ教育を実施し、セキュリティ意識の向上に努めます。これにより、社員一人ひとりがサイバーセキュリティの重要性を理解し、適切な行動を取ることができるよう支援します。

3. インシデント対応体制の整備

インシデント対応体制を整備し、万が一の事態に迅速かつ適切に対応できる体制を確立します。これには、事前に定められた対応手順の確立や、適切なトレーニング・シミュレーションの実施が含まれます。

4. ポリシーと対策の定期的な見直し

サイバーセキュリティの脅威が絶えず進化していることを考慮し、弊社では定期的にサイバーセキュリティポリシーと対策を見直し、最新の技術や手法に迅速に対応します。これにより、弊社のセキュリティ体制を常に最適化し、リスクを最小限に抑えます。